

今夜7時より
市民館3階
(西成区ウラ・映日館・公民館)
毎週金曜日

みんなでつくろう
みんなの会館
三人よれば何とかの知恵

夜間学校

西成区萩之茶屋2-5-23
釜ヶ崎解放会館内 毎日午後6時開校
632-4273 受付

釜ヶ崎夜間学校

釜ヶ崎生活センター署名のゆくえ

大阪市の担当する課に主として説明後

近く正式に署名を手渡す予定

センターの南東の方向にある「新今宮小、中学校」を、釜ヶ崎の子供と大人の「ために」解放させよ、という要求実現のための署名運動がおこなわれていることは、すでに多くの仲間が知っていることと思う。

署名は、センターで三千人、釜ヶ崎キリスト教協会、会が全国から一万人、市教組大阪支部が三千人、解

同矢田支部が一千人と、合計一万七千人集まっている。よせられた署名を有効に生かすために、先日、釜ヶ崎差別と闘う連絡会、釜ヶ崎キリスト教協会、解同矢田支部など、代表六名が大阪市を訪れ、正式交渉前の主旨説明をおこなった。会って主旨を説明した課は次のとおり。

せめよう 割り込み
捨てよう 三三三

大阪市教育委員会教職員課長、同給与課長、同事務課長、同同和教育企画室長、社会教育第一課長、大阪市同知対策部指導課、大阪市民生部保護課。

あらたな情報として、新今宮小、中学校は、二小まで、今中、教小の分校という形をとっていたが、本年三月末日に完全廃校となり、管理権は教育委員会から経理局に移っており、今後、どのように利用するかについて大阪市の中で話し合われている、ということがかかった。要求実現の可能性が高まったといえる。

(手帳を出す時には列への割り込みはせめよう)

また、市教組南大阪支部から伝えられた話によると、大阪総評において正式にこの運動に取り組み、会議で検討することになったと。なかなかいかに、話にきこえ、結局、あの場所を、使う主体は、釜ヶ崎の子供と大人なのだから、釜ヶ崎の人間がボヤボヤして、いるわけにはいかないと思う。

仕事がなく、労働条件の切り下げも厳しいが、長い先を考え、この運動を成功させなければならぬ。

個人の努力にさらに集団

の努力が加われば・・・

前回(四月二六日)報告

まず、最近、仕事が増えてきたことが話題になった。毎年みられる現象とはいえ、4月になるとガツと仕事が増えるのはやはり気分をのめいラせる。アオカンする人の姿も3月までより目立つようになった。夜間学校も、こころなしに集まりが悪くなり、景気のいい話もなくなった。アブレがひどくなるこの時期、その影響を最も強く受けるのは、高齢の労働者だ。参加者からも心配する声が出た。

しかし、高齢の労働者だけがこの時期、不安になるのではな。日雇いをしている者にとつて、この時期はあらゆる買入れを止めて、乗り切らなくてはいい時期なのだ。一人一人の胸の内には、こうやって乗り切ろうという、こころづもりがすでにあるはずだ。4月から7月まで、まずは水われ一人一人の個人の努力で耐えていかなくてはならない。けれども、毎年、この時期を個人の努力だけで乗り切つてい

かねばならない、というところに空しさを覚えるのも事実だ。アブレは自然災害ではな。いのだから、もつと他に対応の仕方もあるのではな。いか。

おとし(一九八三年)は、6月から7月にかけて、大阪府に封して「仕事よこせ」のデモやハンスト斗争にのりこんだ。百名々々の仲間がとろくんだ。たつたが、残念ながら、大阪府に仕事をだすせるところまではいかたつた。しかし、仲間の参加が百名にとどまらず、五百名、千名、それ以上になつていたら、きつと、大阪府に何らかの対策をとらざるにたがきたのではな。いかと思ふ。個人の努力にさらに集団の努力が加われば、アブレももう少しやわらぐのではな。いか。

ある参加者は次のように語つた。7月のう、きょうと仕事に行つた。アンプをもちこんど仕事しな。いとダメ。こちらが誠意をみせれば、オヤジもそれにこたえる。アンプをバカにすると痛い目にあうぞとりえるような組織がほしい。もつとアンプにピタッとくるような運動がほしい。か。デモのときでも、バントウのこことか、アブレのこことかを心配しすぎではな。いか。このムとは、個人の努力と集団の努力を、なんとか結びつけていくにはどうすればいいか、といつて。二つの問題提起を受け、われわれ一人一人、自分の問題として考えたい。多くの仲間の参加を待つてい